

つどい

第10号

大代公民館発行

昭和53年6月16日

人情豊かな町づくりを

高崎 章

新年度を迎え、はからずも公民館長の重任を担うことになりました。

こと社会教育について菲才な私にどうすることもできませんが、精々勉強し努力致し度いと思えます。どうか皆さんのご協力をお願い申し上げます。

もう過疎の言葉も聞きあきた思いですが大田市末端に位置する当町はその極限ではないかと考へられます。平均年令は上昇の一途であり又経済

的理由から働けるものは現金収入の道を余儀無く都市部に求め兎角話合いの場は少なく人情すら薄れてゆく感がいたします。

そこで、「人情豊かな町づくり」に傾注してみたいと思えます。互いに声をかけ合い励まし合い、そして我々の町を部落をいかに守り育てるか社会の一員としての自覚のもとに精進したいものと考えます。どうか皆さんの叱咤激励をお願い申し上げます。

健康管理

私達勤労者が行なうにあたって大切なことが十項目ありますので、毎号項を追って紹介します。

1. 健康診断を必ずうけよう。

健康診断が普及したおかげで、さしも猛威をふるった結核も早期発見、早期治療ができるようになり、死亡率が著しく減少してきたことはま

とに喜ばしいことです。結核に限らず、私達の健康をむしばむおもな病気はその大多数が初期には自覚症状を現わさないようです。ですから、自分では健康だと思つていても、高血圧や心臓病、ガンをはじめ、肝臓病腎臓病といった重大な病気がひそんでいる場合が少なくありません。

健康診断は健康づくりの基礎です。できれば年二回、少なくとも年一回 診すること

が必要です。欧米では誕生日や結婚記念日に健康診断をうける習慣があるように伺つています。

ぜひ、私達も見習いたいものです。

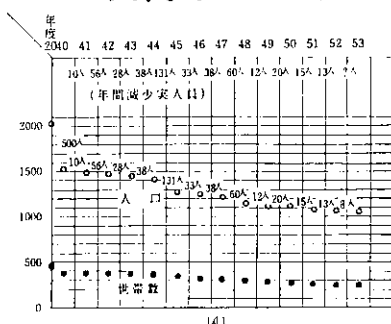


連絡所からお願い

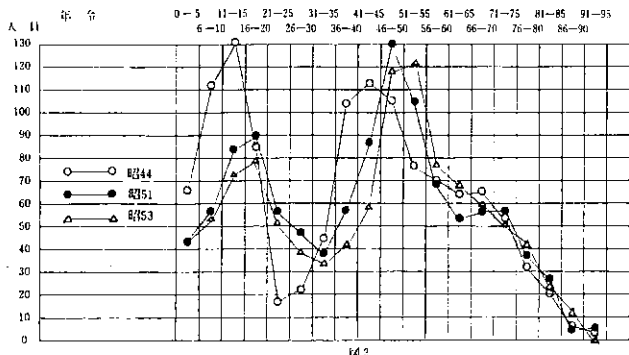
御多忙の毎日 本年はとりわけ 日照が続き水不足が深刻な問題となつていようです。

さて、連絡所へ御出で下さる 皆さんに一言お知せいたします 市役所へのすべての申請には 殆んどの場合、印鑑(みとめ)が必要でです。又保険関係では 保険証が、年金関係では年金手帳をそれぞれお持ち下さい 尚保険と年金はその資格において、密接な関係がありますので、異動申告には両方が必要となります。(以後次回へ)

大代町の人口推移



二月末日大代町の人口は次の通りです。
 ○世帯数 三四七戸、○男 五一一人
 ○女 五三八人、○計 一、〇四九人
 これを過年度に比較してみると次の様なグラフが画かれます。昭和四十五年をピークに、年平均三十八人の減少。更に年令別に見ると第2図の通りとなります。皆さん如何御考えですか。



大代中存置について

渡 敏 昭

昨年末アンケート調査の結果町民のほとんどの皆さんが、存置を強く希望しておられる様子を伺つて、何としてもこの大代中学校は守らなければならぬと決意を新たにした次第です。

合併論で問題の焦点となるのは、小規模校と大規模校との教育効果の比較であります。要はどちらの方が、学力が身につく体力が養われて、そして人間性を豊かにするのが問題であります。

この点について、教育にたずさわつておいてになる先生方や既に合併している大規模校の父兄から伺つた事項を参考にし、二、三意見を述べ、合併可否の御判断の資料の一部としていただきます。

一、学力がつくのは決して施設の良否や生徒の大小によるものではなく、要は立派な教師のもとに生徒数に比し多くの先生方をようしていることであると

います。

このことは大田市の中で大代中学校の生徒の成績(学力)をみてもらえば、容易に理解できると思います。

(注)

先般大原郡大東町にある久野小学校と中学校(校舎は小学校と中学校同じ棟で鉄三階建)を視察しましたが、小規模校として立派な教育成果を挙げておられること

今度公民館におきまして何とか皆様方と心の通つた集いをどの計画がありました。そこで、花木の盆栽をやつて見たいと思われ

方々と集い合ひ、研究してみたいと思

代公民館報にのせていたことになりました。現在毎日

を知りました。又訪問時懇談の席上伺つたことですが、生徒数がいくらか少なくなつても、中学校段階では複式とは絶対にならないということも学んで帰りました。

二、立派な体力づくりは学校の中から一〇〇米競争に一位を出したり、水泳に一位を出すことではなく、健康な体力を身につけてやることであると思ひます。

この点小規模校とはいへ、保健体育優良校として島根県一を誇る大代小学校の実態をみても容易に理解できると思ひます。(要は立派な教育や体力づくりは学校の取り組みの姿勢とPTAの支援体勢と思われ

の生活に追われて、そのゆとりを失ひ勝ち、物価は上るばかり、とにかくせら辛い世の

盆栽の同好会づくり

渡 寛之

三、豊かな人間性を育てることが教育上に課せられた重要な使命であると思ひますが、より多くの友に接し情操を豊かにするには大規模校が恵まれています。時代では教師から受ける感化は非常に大で、小規模では、先生と生徒が極めて家庭的な連がり、保たれ、血の通つた教育がほどこされ、人格形成に大恵まれた環境におかれています。

私には仕事の関係で美濃郡や鹿足郡の方々にも接して、学校のこと、合併は決して教育効果があると思われ

回でも集い、心のふれ合いを盆栽を通して求められたらこんな幸せはないと思ひます

初心者の方々もひとりでも多く、ツツジ

から始めまして、大代にたくさんの花をさかせようではありせんか。皆さんの御参加をお待ちしています。

果をあげるため推進されるものではなく、市町村の財政上経費を縮少し、財政の維持を計らうとするのが目的で、財政を重くみ教育を犠牲にする結果となつていようであり最後までがんばるべきである」と進言を受け

このことを耳にする度に私達、かねがね考へておられることが正しいものであることに一層意を強くし、今後とも皆さんとともに大代の将来にとりかえしのつかない事態を引きおこさないことに一丸となつて決意を固めたいと思つ次第であります。

今年も又教育委員会の方から合併促進の働きかけがあるうと思ひますが、大代町としての進路は従来の消極的な合併反対運動から、さらに前進して、校舎再建(小中学校合同校舎の建設)にうつつ一丸となつて取り組むべき時期と考へます。



「心の向き」について

生きることは感動することであり、感動は、きれいな心素直な心から生れます。生きるよろこびを持ち、素直に感謝する、これが感動であります。今日の一日に満ち足りた気持ち、家庭のともしびとなり、楽しい、いいこいの場にたかめてゆく、

そして素直に有難う 自然な気持ちでおかげさまと家族同志で言いあえる和やかさを作り出すのであります。

夫と妻、親と子、嫁と姑等人間関係は複雑化しています。が、ひとりひとりの心にもつとのおおらかさ、素直さが芽ばえれば、好転するものと思えます。それは一応の理論で現

実は生やさしいものではないと言ふ人があると思います。私も同感です。

だが、申し述べたいことはあたりまえと受けとつていたことを「ようこそ」と相手の好意、誠意を素直に受けとろうと言ふのであります。

あたりまえと受けとるところには感動もよろこびも楽しみもないのです。

三木前首相が国会において物的生活は簡素に、精神的生活をゆたかにと演説していたことを記憶していますが、現在の日本人の生活に「感動」がひどく欠けていることをも

読書への勧誘

渡 綾子

読書会が発足して五年、白石先生の御熱心な良き御指導のもとに会も軌道に乗つてまいりました。

文芸作品、古典、又現代の問題作等、読後の感想印象に残つた場面、作品の味わい方、良さ、その他中年から若年集つた方々といろいろ話し合う時、時には見解の相違につ

含めていると私は思いました。「あたりまえ。」「ようこそ。」に転換することは容易なことではありません。

だが常に自分をかえりみて自分を正しくしていく努力をしなければならぬのです。子は親の生活を手本として乳幼児、少年、青年の歳月をかけて、はだから受けとつて成長するのであります。

老後の「私」がなく、笑うかはだれのせいでもない、「私」がまいた「たね」、現在の「私」の生活の結果なのであります。

このきびしい事実を思うとくづくわが年令を思うこともあり、今ごろのような狂乱物価時代、毎日の生活に追われ、たゞ忙しい忙しいの明け暮れに読書でもあるまいと思ふこともしばしば。ア、読書会の日が来るわ、急いで読まなくちゃ、時には読みながら他のことを考えていたり

しかし、それでもいいでは有りませんか。千分の一、万分の一でも心の血となり肉となれば幸せ、がんばらなくちゃと思つていきます。

き、私は一日一日を大切に生活せねばならないことを強く思い知らされ、少しでも清らかに素直に心の向きをきめたいと願いつつ筆をおく次第であります。

地域の皆様に御理解を!!

武田 絹枝

五月ばれもうらめしい毎日でございます。

この度の役員会の席上で前会長のあとを引受けるこ

どになりました。何と申しましたも大変な大役で責任の重大さを切々と感じて居る次第です。幸いにも山口、渡両副会長のすぐれた人材の推せんを得、又執行部の役員、それに各支部の支部長の絶大なご支援を賜り、ゆるぎない大代婦人会の伝統を守り続けていく所存でございます。

親睦を軸として学習奉仕、世論の形成に参加する婦人会の活動目標を実現するために地域の皆様の深いご理解とご協力をお願いする外ございません。よろしく願ひしますように願つていきます。

大代小学校だより

1. 学力の充実
2. 読書の習慣化
3. 低 体位対策
4. 心の健康
5. JRC活動
6. 簿着はだし運動
大代小学校は以上のような六つの柱をたて、今年度の教育を実践していきます。大代町あげて、大代小教育充実のため協力しよう

社協より



昭和五十一年以降、大代社協支部へ次の方々からたくさんのお寄せをいただきました。厚く御礼申し上げますと共に御知らせ致します。

- 柿田 谷口 義春 様
- 植松 後藤 一夫 様
- 〃 後藤 茂 様
- 〃 市原 和秀 様
- 川上 角 親善 様
- 〃 角 岩雄 様
- 〃 葛原 秀夫 様
- 〃 塚崎さつよ 様
- 植松 中垣 義 様
- 〃 久手町 高崎 修 様
- 〃 四日市 荒本 忠宗 様
- 〃 川上 田中 久好 様
- 〃 山田 武田 実 様
- 〃 〃 原田 庫市 様
- 〃 〃 高村 夏雄 様
- 〃 〃 国川直太郎 様
- 〃 〃 山口 吾市 様
- 〃 〃 泉 三太郎 様
- 〃 〃 飯谷 忠正 様
- 〃 〃 右原 様

公民館運営委員決る

- 上 市 谷口 久一 様
- 柿 田 石川 義 様
- 八 反 田 長谷 幸夫 様



新緑の候、皆様いかが御過しですか。新年を迎え、前館長の尾崎義徳さんの御勇退により、高崎章さんを新館長として迎えました。そして新しい運営委員に次の十三名の方が選任されました。

- 前田 節夫(中学校)
- 木村 吉男(上市)
- 山根 正三(下市)
- 山口富士枝(つばき)
- 竹間 猛(八反田)
- 原田 英夫(本郷)
- 谷口 通雄(山田)

- 森脇 司郎(飯谷)
- 武田 絹枝(〃)
- 花田 三郎(上市)
- 渡 敏昭(下市)
- 尾崎 義徳(下谷)
- 日向 重守(山田)

以上紙面の都合で敬称を略しました。本年度は家庭教育学級グループ造り、以上の二つを重点として事業を推めて行く方針です。皆さんも何かグループへ参加をして楽しい活動をしてみませんか。お気軽に御出かけ下さい。

中学校だより

学校長 前田 節夫

生徒四十二名、職員十名で出発して五十日、年度初めの諸行事も好天に恵まれ、とどろきうりなく終了、月末の中間テスト、六月中旬の市総合体育大会を目標として励んでおります。人数は少ないが、優秀な教員がそろっています。学校、社会が手をとり合って大代教育を発展させたいと思っております。

編集後記

〇長らくとだえていました館報「つどい」をやつたことので復活する運びとなりました。皆さん方の各自の声が町内に反響し行政に教育に刺激をあたえ、とかく沈みがちな大代町に活気を与え郷土の繁栄に役立つことが望まれます。どしどし御意見や希望の声をお寄せ下さい。

〇編集技術に欠け、館報としての体裁が整わぬ点お許しいたゞき、御助言、御指導をおおぎたく思います。

〇この館報印刷にあつては各方面の方々から御協力をいただきました。ありがとうございました。

〇次号より小中学校、駐在所婦人会、青年団、社協だよりを掲載したいと思っております。各機関におかれましては、広報係をきめていただき、公民館まで御連絡下さいれば、喜びます。

図書の御利用を

先般松江市立女子高校に御転任になりました大代分校林充也教頭先生が赴任の際図書三十数冊及びロッカー大型を御寄贈下さいました。

現在公民館には親子読書用の外三百冊余りの本を有志の方から貸与していただいております。

教養の向上に娯楽に充分これをご利用ください。中学生向きの本も有ります。

借入日 図書名、氏名を各自御記入の上、御自由にお持ち帰り下さい。

皆さん方の御利用をお待ちしております。

